※令和３年度以前入学生用

学校番号	2004

令和４年度　情報科

教科	情報	科目	情報デザイン	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「情報デザイン」　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- １年次で学習した情報機器の使用方法や情報処理の手法を基礎として、コンピュータを使用したデザインの創造を体験しましょう。
- コンピュータを活用した基本的な造形手法について多くの作品から学びましょう。

2　学習の到達目標

- コンピュータによるデザインに関する基礎的な知識と技術を習得している。
- 問題意識、美的判断力を身につけ、情報機器を活用して上質なデザインを創造するための企画・計画を立てて、実践することができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報機器を用いたデザインについて関心をもち、より上質なデザインとは何かを考え、改善や向上に主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	情報社会のモラルやマナーを理解した上で、基礎的･基本的な知識と技術を基に、さまざまなデザインを表現する能力と、創造する意欲を持っている。	制作にあたり、情報機器を活用するための基礎的･基本的な技術を身につけ、合理的に企画・計画してその技術を適切に活用している。	情報の各分野に関する基礎的･基本的な知識を身に付け、情報機器を用いて創造することの意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 授業ごとのポートフォリオ	単元ごとのジャーナル プロジェクトへの取り組み	実習課題の作品 プロジェクトへの取り組み	ワークシートの記述 確認テストの結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	デザイン・情報・造形の基礎	○デザインって何だろう ○情報って何だろう	○ ○	○ ○	○	○ ○	a:日常生活で目にするデザインされたものに興味を持って観察している。 b:身近な問題を見つけ出して解決するための工夫を発表し、他者の意見にも耳を傾け方向性を見極める力がある。 c:デザインを学ぶ心構えや取り組む姿勢を考えることができる。 d:デザインをするための基礎的な要件を理解している。	・ポートフォリオ ・ジャーナル ・制作物 ・確認テスト
		○身近な生活をデザインする	○	○	○	○	a:課題の趣旨を理解し、積極的に取り組もうとする。 b:目的を把握し、さまざまなアイデアから適切に判断し、提案する。 c:スキャナなどの画像入力装置やデザインソフトなどを使って制作できる。 d:色や空間の使い方などの知識と理解。	・ポートフォリオ ・ジャーナル ・制作物 ・確認テスト
2学期	デザインと表現	○デザインの造形要素 ○造形要素の構成 ○観察から表現へ	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	a:造形要素に着目して観察したり、表現技法に興味を持って調べたりすることができる。 b:造形の展開手法を工夫し、見る者に与える効果の違いや組み合わせの面白さを楽しむことができる。 c:グラフィックソフトなどを操作し、適切に表現する。 d:色彩や形態にかかわる基本的な知識を身につけ、さまざまな表現技法を理解する。	・ポートフォリオ ・ジャーナル ・制作物 ・確認テスト

※令和３年度以前入学生用

		○多くの人に知らせるデザイン	○	○	○	○	a:課題の趣旨を理解し、計画的に取り組もうとする。 b: 目的を把握し、対象者を設定して、必要な情報内容とそれに応じたデザイン要素を適切に判断し準備して、効果的にレイアウトすることができる。 c: デザインソフト、プレゼンテーションソフト、プロジェクターなどを活用できる。 d:さまざまなコミュニケーションメディアに関する知識。	・ポートフォリオ ・ジャーナル ・制作物 ・確認テスト
		○情報の理解を助けるデザイン	○	○	○	○	a: 課題の趣旨を理解し、積極的に取り組もうとする。 b: 記事内容、情報内容に応じた適切な材料を選択・準備し、効果的にレイアウトすることができる。 c: デザインソフト、ページレイアウトソフト、Web 作成ソフトなどを活用できる。 d: ページレイアウトや Web ページ作成に関する知識。	・ポートフォリオ ・ジャーナル ・制作物 ・確認テスト
3学期	デザインの実際	○総合演習	○	○	○	○	a: 課題の趣旨を理解し、積極的に取り組もうとする。 b: どのようなデザインアイテムがそのポリシーを展開できるか判断して、具体的なデザインに落とし込んでいく。 c: さまざまな表現技術を用いて効果的なデザインを制作することができる。 d: さまざまなデザインアイテムについての知識。	・ポートフォリオ ・ジャーナル ・制作物 ・確認テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。